活かそう避難情報

■ 市が発令する避難情報の区分

避難指示（緊急）
人的被害発生の危険性が非常に高くなっています。直ちに避難してください。外への避難が危険な時は命を守る行動をとってください。

避難勧告
人的被害発生の危険性が明らかに高まっています。避難行動を開始してください。

避難準備・高齢者等避難開始
非常持ち出し品の用意など、避難の準備を開始してください。特に高齢者など避難に時間がかかる人は、早めの避難を心がけましょう。

■ 気象庁が発表する特別警報とは

特別警報
重大な災害が発生する恐れが著しく大きいときに発表されます。

警報
重大な災害が発生する恐れがあるときに発表されます。

注意報
災害が発生する恐れがあるときに発表されます。

※特別警報が出ないからといって安全なわけではなく、従来の注意報や警報を過小評価してはいけません。

テレビや携帯電話への緊急速報メールなどでよく見かけた**避難指示**や**避難勧告**という言葉。では、指示や勧告はどのような状況で発令され、どういった行動を取ればよいのでしょうか。災害時に提供されるさまざまな情報の内容を理解し、災害から身を守りましょう。

記録的短時間大雨情報とは
大雨警報発表時に、現在の降雨がその地域にとって、災害の発生につながるような、まれにしか観測しない雨量であることを知らせるために、気象庁が発表するものです。

土砂災害警戒情報とは
大雨警報発表時に、土砂災害発生の危険度が非常に高まったときに、対象となる市町村を特定して、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。自主避難の判断の参考にしてください。

洪水の危険があるとき
物部川と国分川が氾濫する危険性が高くなったときに発令される**避難勧告**の基準は次のとおりです。
■物部川水位が氾濫危険水位4.25㍍を大幅に超え、さらに増水の恐れがあるとき
■国分川水位が氾濫危険水位6.4㍍を大幅に超え、さらに増水の恐れがあるとき
■物部川、国分川堤防が亀裂、漏水その他により決壊のおそれが大きくなったとき

被災した場合、減免制度があります

税・負担金・料金の減免
災害による損害の程度により、税や各種料金を減免できる場合があります。詳細はお問い合わせください。

個人住民税　税務収納課市民税班　☎52−9292
固定資産税　税務収納課固定資産税班　☎53−3116
国民健康保険税・国民健康保険一部負担金
後期高齢者医療保険料・後期高齢者医療一部負担金
市民保険課保険班　☎53−3115
介護保険料
健康介護支援課社会長寿班　☎52−9280
保育料　教育振興課幼保支援班　☎53−1088

国民年金保険料の免除制度
一定の審査により認められた場合、国民年金保険料を免除できる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

市民保険課保険班　☎53−3115

り災証明書の発行
台風や暴風、豪雨などの自然災害により家屋や家財等が被害を受けた場合、り災証明書を発行します。

税務収納課固定資産税班　☎53−3116

※内閣府の『防災情報のページ』に、被災者に対するさまざまな支援制度が掲載されています。
HP http://www.bousai.go.jp/taisaku/hisaisyagyousei/seido.html

土砂災害の前兆を知ろう

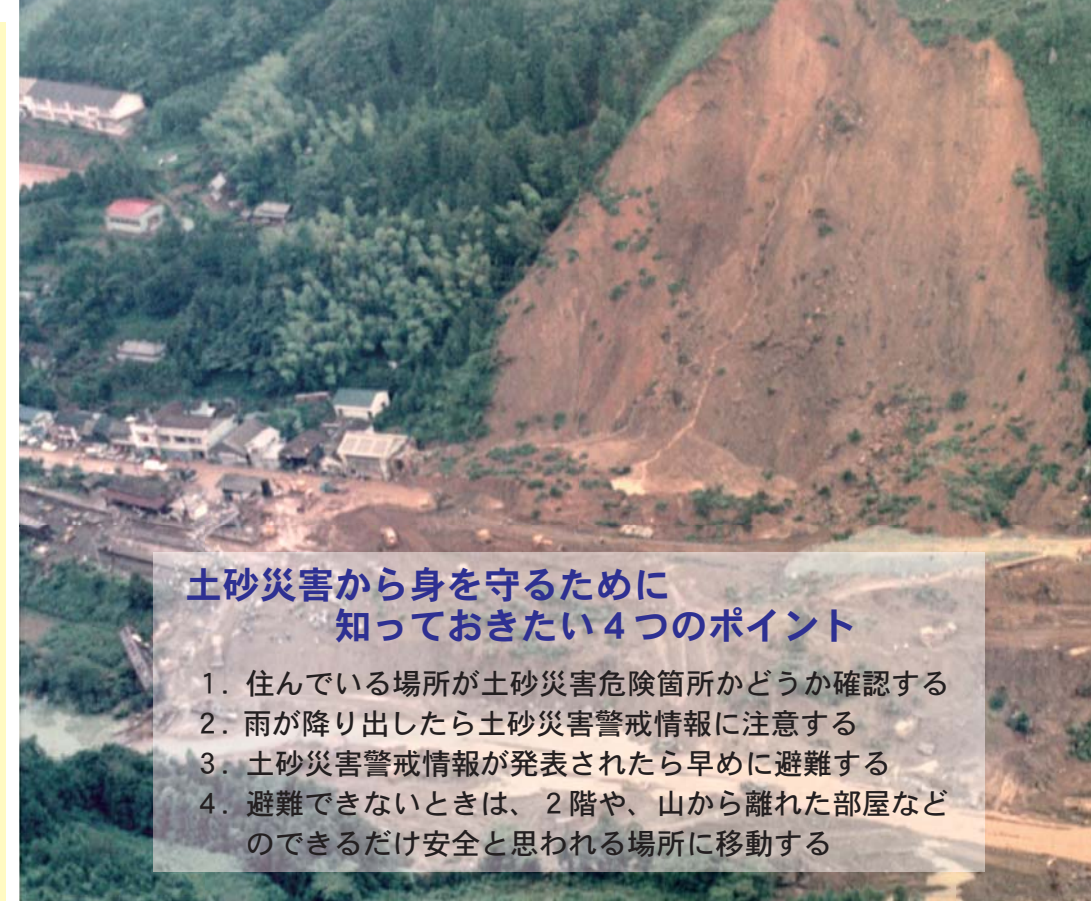
急斜面が崩れ落ちる災害

がけ崩れの前兆
▶がけから水がわき出る
▶がけにひび割れができる
▶小石がパラパラと落ちてくる
▶わき水が濁る・止まる
▶地鳴りがする

地層が滑り落ちる災害

地滑りの前兆
▶地面にひび割れや陥没ができる
▶がけや斜面から水が噴き出る
▶井戸や沢の水が濁る
▶地鳴り・山鳴りがする
▶樹木が傾く
▶亀裂や段差が発生する

大量の水と土砂が流れる災害

土石流の前兆
▶山鳴りがする
▶腐った土の匂いがする
▶急に川の水が濁り、流木が交ざり始める
▶雨が降り続いているのに川の水位が下がる
▶立木がさける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

▲昭和４７年に起きた豪雨・繁藤山崩れ

土砂災害の危険箇所や降雨量による災害の予測を行い、自然をあなどらないことが、あなたの身を守ります。

土砂災害は、一般に１時間２０㍉以上、または降り始めてから１００㍉以上になったら十分な注意が必要です。

市では、香美市における河川の氾濫(はんらん)などによる浸水想定区域や土砂災害の危険箇所など、災害時の避難箇所等を表示した**総合防災マップ**を作成し、配布しています。必要な方は、防災対策課までお問い合わせください。

また、土砂災害に関する情報は、**香美市公式ホームページ**にも掲載しています。トップページから防災情報へとお進みください。

お住まいの地域について今一度確認し、災害時の減災対策としての活用をお願いします。

▲総合防災マップ

1時間の降雨量	雨の降り方と災害予測
10～20㎜ やや強い雨	ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。話し声がよく聞き取れない。地面一面に水たまりができる。
20～30㎜ 強い雨	どしゃ降り。傘をさしてもぬれ、寝ている人の半数が雨に気付く。車のワイパーを速くしても見づらい。側溝・下水・小川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。
30～50㎜ 激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようになる。車は高速走行時、ブレーキがきかなくなる。がけ崩れが起きやすく、危険地帯では避難が必要。
50～80㎜ 非常に激しい雨	滝のように降る。傘は役に立たない。水しぶきで一面が白くなり、視界が悪くなる。車の運転は危険。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80㎜以上 猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。大規模災害の発生について厳重な警戒が必要。